

バッテリー交換時の注意事項：トヨタ ノアHV ,ヴォクシーHV <2014年2月～>

車種	車両型式	エンジン型式	排気量	搭載電池
ヴォクシーHV	DAA-ZWR80G	2ZR-FXE	1800cc	LN2
ノアHV				



トランクルーム デッキボードを外した状態

【バッテリー交換の前に】

- ・バッテリーマイナスターミナルを切り離すと、一部のナビゲーションシステム（盗難防止機能ON等）では、作動時に暗証番号の入力が必要になることがあるので、事前に確認しておく。
- ・補機バッテリーマイナスターミナルを切り離すと、時計およびダイアグコードなどのメモリーが消去されるため、事前に内容を確認する。
- ・補機バッテリーマイナスターミナルを切り離すと、コンビネーションメータに記憶された情報がクリアされてしまうため、必ず補機バッテリーを切り離す前にコンビネーションメータの設定状態を確認しておく。

〔バッテリー交換手順〕

①バッテリーの取り外し

IG OFFおよびライティングスイッチをOFFにする。

デッキボードを取り外す。（図1）

ツメのかん合4箇所を外す。ガイドのかん合2箇所を外し、バッテリーサービスホールカバーをラゲージコンパートトリムカバーNo.1から取り外す。（図2）

クリップのかん合を3箇所を外し、ラゲージコンパートトリムカバーNo.1を取り外す。（図3）

ナットをゆるめ、補機バッテリーマイナスターミナルを補機から切り離す。

ツメのかん合2箇所を外し、コネクターカバーを開く。
ナットをゆるめ、補機バッテリープラスターミナルを補機バッテリーから切り離す。（図4）

ボルト2本を外し、バッテリー取り付け金具を取外す。（図5）

バッテリーホースを補機バッテリーから切り離しバッテリーを取り外す。（図6）

②バッテリーの取り付け

補機バッテリーを取り付ける。

バッテリーホースをねじらないようにL型パイプ部を補機バッテリーに取り付ける。（図6）
注：排気穴栓をバッテリーホースを接続していない側の排気穴に取り付ける。

ボルト2本で、バッテリー固定金具を取り付ける。（図5）
ボルト締め付けトルク：T=ボルト：T=7.2N・m

バッテリーターミナルをバッテリープラス端子に接続する。ツメ2箇所をかん合しコネクターカバーを閉める。（図4） ナット締め付けトルク：T=5.4N・m

バッテリーターミナルをバッテリーマイナス端子に接続する。
ナット締め付けトルク：T=5.4N・m

クリップ3箇所をかん合し、ラゲージコンパートトリムカバーNo.1を取り付ける。（図3）

ガイド2箇所と、ツメ4箇所をかん合し、バッテリーサービスホールカバーをラゲージコンパートトリムカバーNo.1に取り付ける。（図2）

デッキボードを取り付ける（図1）



図1

デッキボード

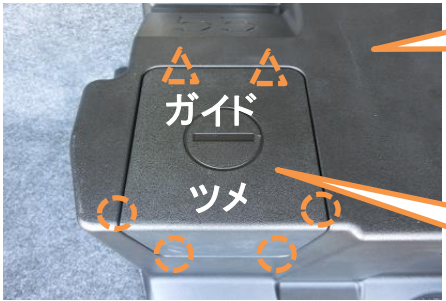


図2

ラゲージコンパート
トリムカバー No.1

バッテリーサービス
ホールカバー

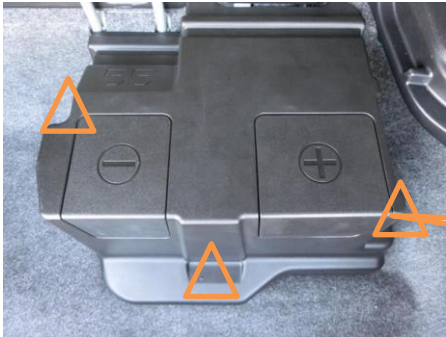


図3

クリップ3箇所

図4

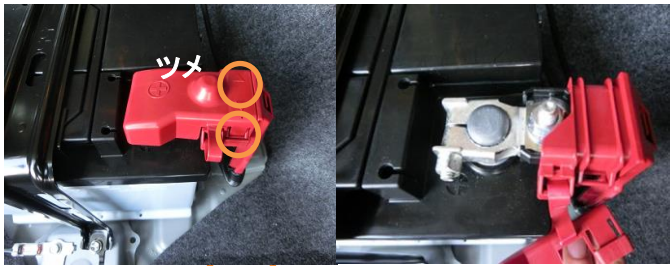


図5

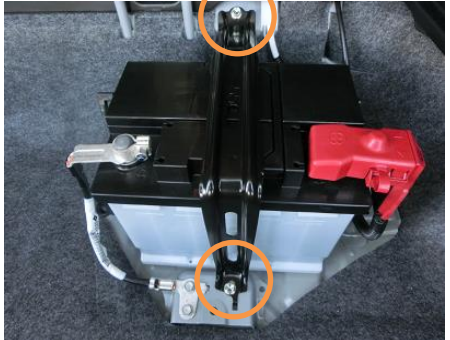


図6

バッテリーホース

排気穴栓

〔バッテリー交換時の注意事項〕

＜ISC学習(アイドルスピードコントロール(アイドル回転数制御装置))＞

補機バッテリーの取り外し、および補機バッテリーのマイナスターミナル切り離しを伴う作業を実施した時に、ISC学習値が初期化され、学習を実施するまで「ハイブリットビークルトランスアクスルASSYからガラガラ音がする」などの現象が起きる場合がある。よって上記作業を実施した場合は、ISC学習を実施する。

1. GTS(ダイアグテスター)をコネクタに接続する。
2. IG ONにする。
3. GTS(ダイアグテスター)を使用して、メニュー項目で「パワートレイン」⇒「エンジン」⇒「データモニタ」⇒「ISC学習完了」
4. データモニタで「ISC学習完了」を確認する。
5. IG OFFにする。

＜パワースライドドアシステムの初期化＞

バッテリーを切り離した場合、ワイヤーハーネスおよびスライドドアモータユニットを交換または脱着した場合やMPX-BNo.1ヒューズを交換または脱着した場合は、パワースライドドアシステムの初期化が必要となる、初期化を行わないとパワースライドドアシステムが作動しない。

* スライドドアを一度、手動で全開にする。(参考:スライドドアを閉じたままバッテリーを切り離した場合は不要)

＜バックドアオープナの初期化＞

マルチプレックスネットワークマスタスイッチASSYのドアコントロールスイッチ(マニュアル作動用)、エレクトリカルキートランスミッタSUB-ASSY(電子キー)(スマートエントリーあり)またはドアコントロールトランスミッタモジュールセット(スマートエントリーなし)によるドアアンロック操作をする。

＜サーボモータ初期化＞

1. GTS(ダイアグテスター)をコネクタに接続する。
2. ブロウOFFスイッチを押し、すべての機能を停止状態にする。
3. GTS(ダイアグテスター)を使用して、画面を「A/C」⇒「作業サポート」⇒「サーボモータ初期化」の順に選択する。
4. 画面に指示に従って作業を完了する。(初期化作業中はAUTOスイッチが点灯し、作業終了すると消灯する)

〔挟み込み防止機能〕

問題	解除方法
パワーウィンドウを閉めることができない	パワースイッチをONモードの状態、挟み込み防止機能や巻き込み防止機能が作動した後、4秒以内にパワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続ける。または「自動全開」の位置で押し続けることでドアガラスを開閉することができます。 * 上記の操作行ってもドアガラスが閉まらない場合、挟み込み防止機能の初期化を次の手順で実施してください。 1. パワースイッチをONモードにする。 2. パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続け、ドアガラスを全閉にする。 3. 一旦、パワーウィンドウスイッチから手を離して、再度パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で6秒間引き続ける。 4. パワーウィンドウスイッチを「自動全開」の位置で押し続け、ドアガラスを全開にした後、更にスイッチを2秒間押し続ける。 5. 再度、パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続け、ドアガラスを閉めた後、さらに2秒間引き続ける。

《ご注意》

本資料は、自動車メーカーの整備マニュアル情報などを元に作成しています。但し、有効な手段としてご紹介している資料のため、本資料記載の方法で何らかの問題が発生した場合、弊社では責任は負いかねます。尚、問題が改善されない場合は、カーディーラーなどにご相談をお勧めします。